

1 地域別の経済規模と推移

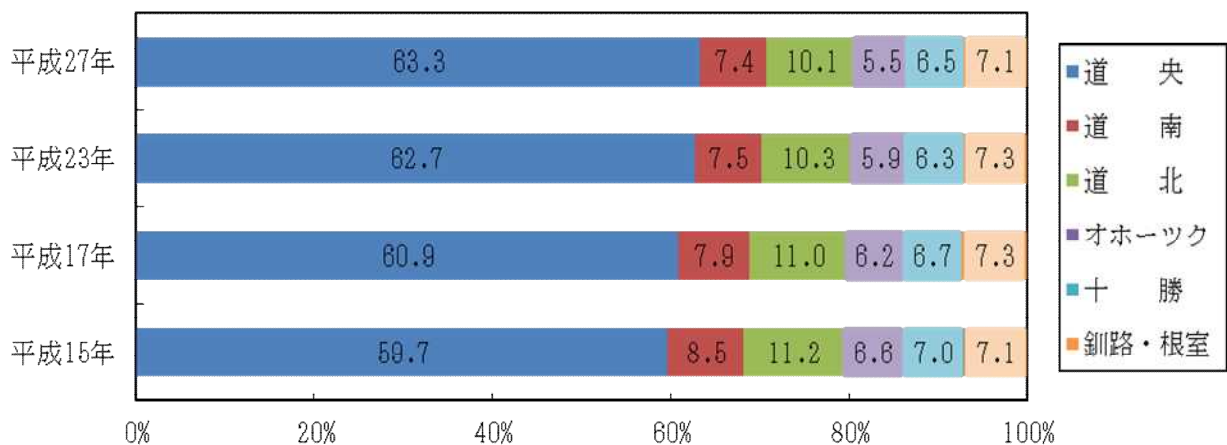
平成27年の地域別の経済規模を生産額で比較すると（表1及び図1）、「道央」が22兆5,218億円と最も大きく、北海道全体の生産額35兆5,661億円のうち63.3%を占めている。次いで「道北」が3兆5,899億円（シェア10.1%）、以下、「道南」2兆6,492億円（同7.4%）、「釧路・根室」2兆5,208億円（同7.1%）、「十勝」2兆3,178億円（同6.5%）、「オホーツク」1兆9,665億円（同5.5%）の順となっている。

平成23年の生産額の割合と比較すると、「道央」及び「十勝」のシェアが上昇し、生産額については「道央」、「道南」、「道北」、「十勝」、「釧路・根室」が増加している。

表1 地域別生産額の推移

	生産額（億円）				構成比（%）				生産額の伸び率（%）		
	平成15年	平成17年	平成23年	平成27年	平成15年	平成17年	平成23年	平成27年	15-17年	17-23年	23-27年
道央	199,968	207,040	209,762	225,218	59.7	60.9	62.7	63.3	3.5	1.3	7.4
道南	28,382	26,764	24,998	26,492	8.5	7.9	7.5	7.4	▲5.7	▲6.6	6.0
道北	37,457	37,306	34,500	35,899	11.2	11.0	10.3	10.1	▲0.4	▲7.5	4.1
オホーツク	22,031	20,954	19,816	19,665	6.6	6.2	5.9	5.5	▲4.9	▲5.4	▲0.8
十勝	23,361	22,914	21,069	23,178	7.0	6.7	6.3	6.5	▲1.9	▲8.1	10.0
釧路・根室	23,777	24,859	24,351	25,208	7.1	7.3	7.3	7.1	4.6	▲2.0	3.5
北海道計	334,975	339,837	334,497	355,661	100.0	100.0	100.0	100.0	1.5	▲1.6	6.3

図1 道内生産額に占める地域別生産額の割合とその推移



2 地域別産業構造

各地域の5産業別（注1）生産額の構成比をみると（図2）、「道央」は全道と比較して第1次産業の割合が低く、製造業、第3次産業の割合が高い。特化係数（注2）をみると（表2）、主に製造業部門の「石油・石炭製品」、「銑鉄・粗鋼」、「鉄鋼一次製品」が高い値を示している。

「道南」は、全道と比較して製造業の割合が高い。特化係数では、製造業部門の「水産食料品」、「窯業・土石製品」、電力・ガス・水道業部門、サービス業が他地域より高い値を示している。

「道北」は、全道と比較して第1次産業、建設業、第3次産業の割合が高い。特化係数では、製造業部門の「繊維製品」、建設業部門、公務部門が他地域より高い値を示している。

「オホーツク」は、全道と比較して第1次産業、建設業の割合が高い。特化係数では、林業、製造業部門の「木材・家具」が他地域より高い値を示している。

「十勝」は、全道と比較して第1次産業、建設業の割合が高い。特化係数では、農業、製造業部門の「畜産食料品」が他地域より高い値を示している。

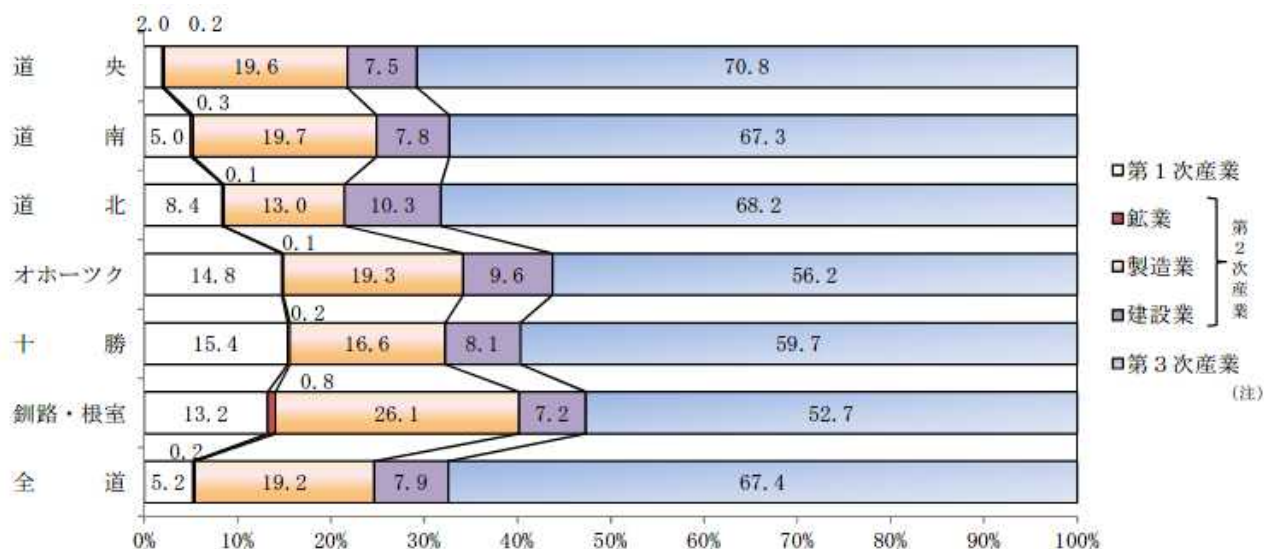
「釧路・根室」は、全道と比較して第1次産業、製造業の割合が高い。特化係数では、漁業、鉱業、製造業部門（全体）、製造業部門のうち「パルプ・紙」、「化学製品」、「その他の飲食料品」が他地域より高い値を示している。

このように、特化係数をみると、道央以外の5地域では第1次産業とその関連食品産業の値が高いことがわかる。

（注1） 5産業とは、第1次産業、第2次産業の鉱業、第2次産業の製造業、第2次産業の建設業及び第3次産業である。（以下同じ。）

（注2） 地域別産業別生産額の割合を、対応する道内生産額の産業別の割合で除して求めた係数である。「1」であれば、地域における当該産業の生産額の割合が、道内全体における割合と同じであることを示す。

図2 地域別産業構造（5産業別）



(注) 第1次産業：農業、林業、漁業

第2次産業：鉱業、製造業、建設業

第3次産業：電力・ガス・水道、商業、金融・保険・不動産、運輸・情報通信、公務、サービス業、分類不明

と分類している。（13部門分類（参考表参照）、以下同じ。）

表2 地域別産業別特化係数

	道央	道南	道北	オホーツク	十勝	釧路・根室
1 農業	0.41	0.59	1.61	2.55	3.51	2.32
2 林業	0.32	0.99	1.78	4.30	3.16	1.38
3 漁業	0.24	2.55	1.54	3.63	0.40	3.88
4 鉱業	0.80	1.19	0.53	0.53	1.07	3.55
5 製造業	1.02	1.02	0.68	1.00	0.87	1.36
うち 畜産食料品	0.54	1.60	1.03	2.18	2.34	2.32
水産食料品	0.38	3.65	0.94	2.69	0.15	3.30
その他の飲食料品	0.66	1.28	0.90	1.74	2.14	2.29
繊維製品	0.65	2.40	3.18	0.21	0.54	0.61
木材・家具	0.64	0.85	1.82	3.31	1.36	1.06
パルプ・紙	1.09	0.10	1.07	0.04	0.28	2.47
印刷・製版・製本	1.19	0.50	0.89	0.64	0.87	0.40
化学製品	0.94	0.60	0.27	0.73	0.95	3.23
石油・石炭製品	1.57	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01
プラスチック製品	1.24	0.18	1.04	0.43	0.04	1.02
窯業・土石製品	0.86	2.13	1.17	1.12	1.05	0.70
鉄鉄・粗鋼	1.58	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
鉄鋼一次製品	1.55	0.13	0.01	0.01	0.01	0.05
非鉄金属製品	1.50	0.27	0.08	0.16	0.19	0.00
金属製品	1.29	0.41	0.66	0.45	0.59	0.36
機械	1.16	1.22	0.68	0.44	0.82	0.36
そのほか（注）	1.11	0.73	0.89	1.03	0.73	0.68
6 建設業	0.94	0.98	1.30	1.21	1.02	0.90
7 電力・ガス・水道業	1.21	1.57	0.39	0.38	0.46	0.41
8 商業	1.07	0.85	0.98	0.80	0.91	0.79
9 金融・保険・不動産	1.08	0.96	0.96	0.79	0.70	0.83
10 運輸・情報通信	1.10	0.90	0.80	0.73	0.88	0.85
11 公務	0.91	0.94	1.58	1.16	1.06	0.89
12 サービス業	1.03	1.06	1.04	0.86	0.95	0.74
13 分類不明	0.99	1.02	0.99	1.03	1.02	0.99

(注) 38部門分類（参考表参照）における皮革・ゴム、その他の製造品及び事務用品

3 地域別域際収支

各地域の域際収支をみると（図3、表3-1、表3-2）、「道央」の道外域際収支（注1）は、鉱業、製造業（機械）が5,000億円を超える赤字となっており、全体では1兆8,745億円の赤字と大幅な輸移入超過となっている。また、道内域際収支（注2）は、主に石油・石炭製品が黒字となっており、全体では8,897億円の黒字と大幅な移出超過となっている。

その他の5地域をみると、道外域際収支では「道南」、「道北」及び「十勝」が赤字となっているが、「オホーツク」は主に農業、製造業（畜産・水産食料品）、「釧路・根室」は主に農業、漁業及び製造業（畜産・水産食料品やパルプ・紙）の影響で黒字となっている。また道内域際収支では、製造業や第3次産業の赤字幅が大きく、「釧路・根室」以外の4地域は赤字となっているが、「釧路・根室」は農業、漁業及び製造業部門の移出額が大きく、黒字となっている。

道外域際収支と道内域際収支を合計した域際収支計では、「釧路・根室」以外の5地域は赤字、「釧路・根室」のみ黒字となっている。

（注1） 道外域際収支とは、ある道内地域と道外（海外含む。）との交易（取引）の収支である。

（注2） 道内域際収支とは、ある道内地域とその他の道内5地域との交易（取引）の収支である。

図3 地域別域際収支

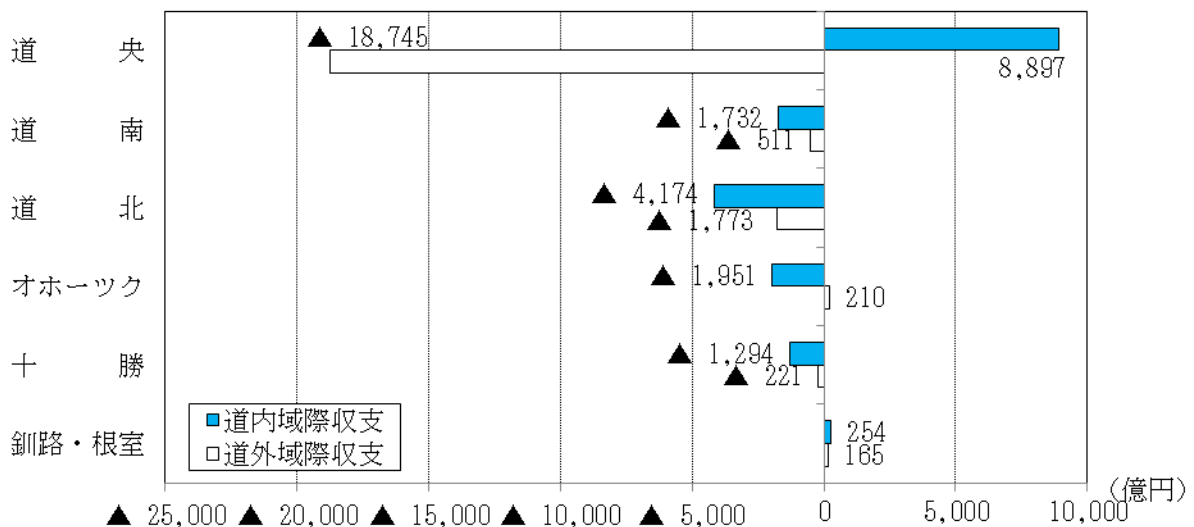


表3-1 地域別域際収支

(億円)

	道外 域際収支	道内 域際収支	域際収支計
道 央	▲ 18,745	8,897	▲ 9,848
道 南	▲ 511	▲ 1,732	▲ 2,243
道 北	▲ 1,773	▲ 4,174	▲ 5,947
オホーツク	210	▲ 1,951	▲ 1,741
十 勝	▲ 221	▲ 1,294	▲ 1,515
釧路・根室	165	254	419
北海道 計	▲ 20,877	0	▲ 20,877

表3-2 地域別産業別域際収支

(億円)

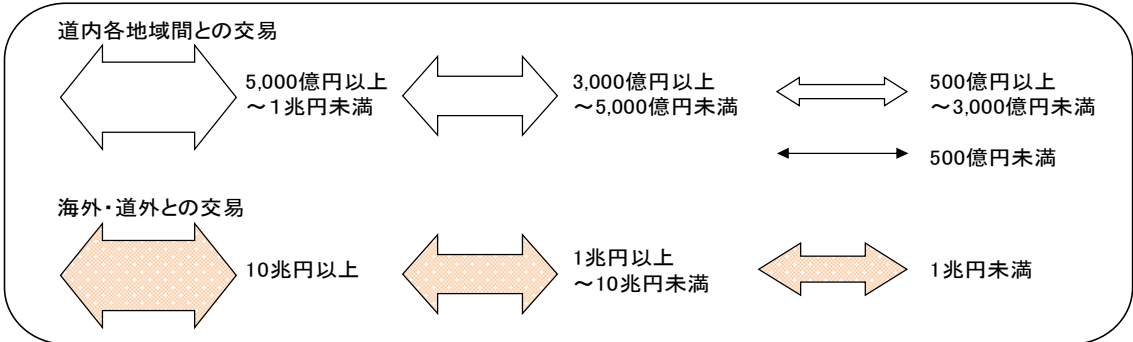
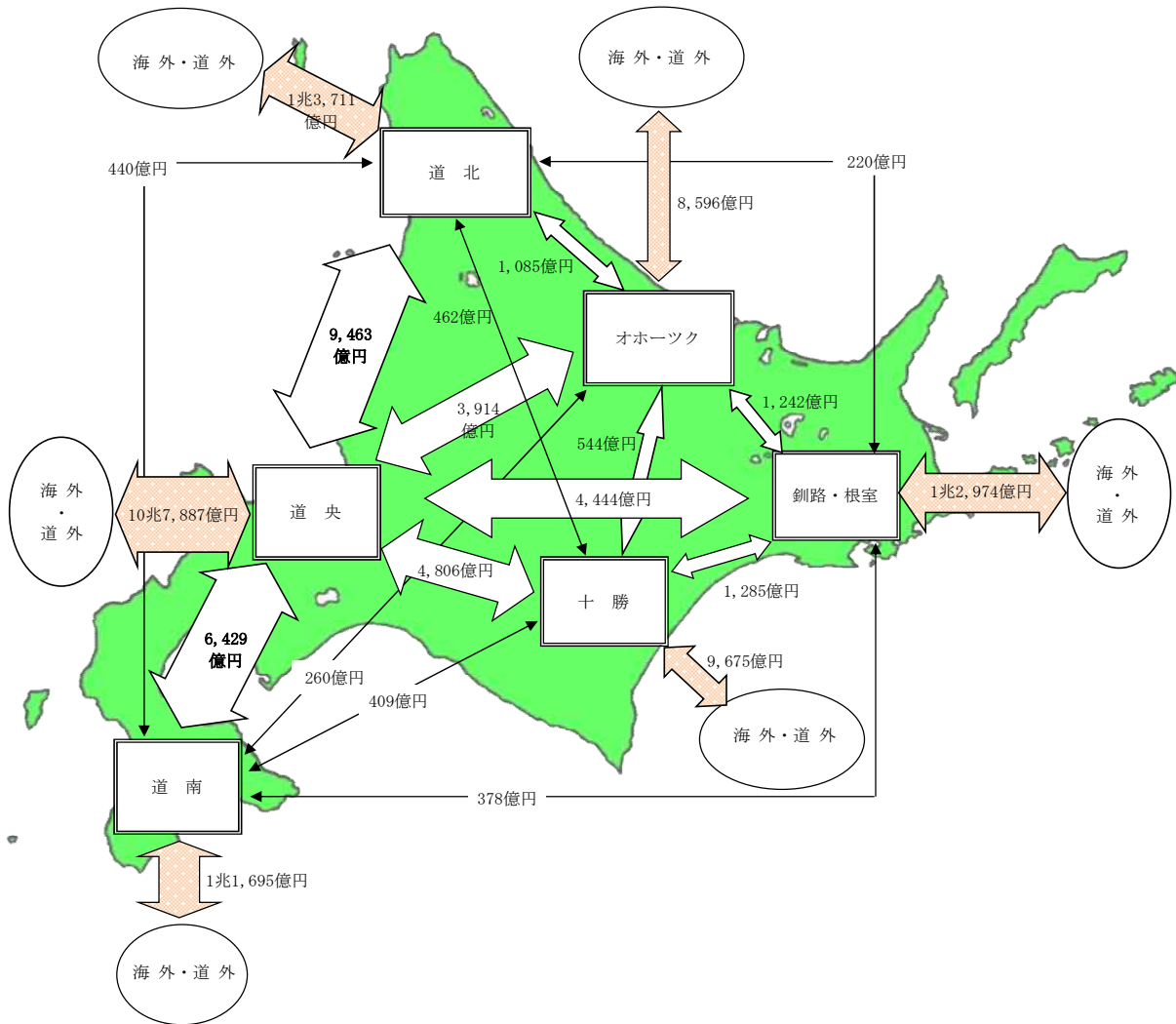
	道 央		道 南		道 北		オホーツク		十 勝		釧路・根室	
	道 外	道 内	道 外	道 内	道 外	道 内	道 外	道 内	道 外	道 内	道 外	道 内
	域際収支	域際収支	域際収支	域際収支	域際収支	域際収支	域際収支	域際収支	域際収支	域際収支	域際収支	域際収支
1 農業	177	▲ 491	121	▲ 417	935	129	803	47	1,133	383	262	349
2 林業	▲ 38	▲ 112	4	▲ 7	7	15	8	21	▲ 6	81	3	2
3 漁業	211	▲ 378	179	▲ 159	112	157	160	154	26	19	164	208
4 鉱業	▲ 6,575	▲ 139	▲ 101	28	▲ 43	▲ 38	▲ 18	▲ 10	▲ 22	19	▲ 17	140
5 製造業	▲ 13,865	3,234	▲ 434	▲ 815	▲ 2,300	▲ 1,660	▲ 387	▲ 567	▲ 1,110	▲ 682	▲ 73	491
うち 畜産食料品	302	▲ 65	458	▲ 30	372	▲ 97	483	20	613	31	575	142
水産食料品	547	▲ 323	1,221	176	303	20	643	91	29	▲ 100	1,066	137
その他の飲食料品	▲ 3,141	▲ 253	▲ 15	▲ 94	▲ 187	▲ 444	107	▲ 42	50	124	▲ 288	709
繊維製品	▲ 1,675	▲ 25	▲ 215	14	▲ 292	36	▲ 165	▲ 11	▲ 168	▲ 6	▲ 182	▲ 7
木材・家具	▲ 700	5	15	▲ 30	75	17	128	73	43	▲ 16	10	▲ 49
パルプ・紙	1,440	120	▲ 31	▲ 71	229	▲ 1	▲ 41	▲ 68	▲ 6	▲ 64	456	84
印刷・製版・製本	▲ 180	105	▲ 23	▲ 37	▲ 28	▲ 10	▲ 16	▲ 17	▲ 17	▲ 6	▲ 20	▲ 35
化学製品	▲ 3,711	103	▲ 430	▲ 48	▲ 675	▲ 148	▲ 321	▲ 66	▲ 415	▲ 25	▲ 214	184
石油・石炭製品	2,654	1,916	▲ 262	▲ 402	▲ 335	▲ 529	▲ 182	▲ 288	▲ 199	▲ 317	▲ 243	▲ 381
プラスチック製品	▲ 697	153	▲ 102	▲ 55	▲ 111	▲ 5	▲ 75	▲ 32	▲ 75	▲ 45	▲ 103	▲ 15
窯業・土石製品	▲ 316	▲ 28	▲ 4	85	▲ 42	▲ 19	▲ 21	▲ 7	▲ 23	▲ 7	▲ 26	▲ 25
鉄鉄・粗鋼	39	15	▲ 1	▲ 13	▲ 0	0	▲ 0	▲ 0	▲ 0	0	▲ 0	▲ 2
鉄鋼一次製品	1,790	263	▲ 35	▲ 51	▲ 77	▲ 88	▲ 34	▲ 39	▲ 43	▲ 49	▲ 28	▲ 36
非鉄金属製品	▲ 553	18	▲ 56	▲ 4	▲ 71	▲ 6	▲ 34	▲ 2	▲ 48	▲ 3	▲ 35	▲ 3
金属製品	▲ 640	344	▲ 95	▲ 79	▲ 126	▲ 95	▲ 105	▲ 40	▲ 76	▲ 59	▲ 87	▲ 72
機械	▲ 7,206	637	▲ 667	▲ 145	▲ 1,123	▲ 198	▲ 654	▲ 105	▲ 652	▲ 84	▲ 802	▲ 105
そのほか(注)	▲ 1,819	250	▲ 193	▲ 34	▲ 211	▲ 92	▲ 99	▲ 32	▲ 123	▲ 55	▲ 153	▲ 36
6 電力・ガス・水道	▲ 74	1,138	▲ 8	453	▲ 12	▲ 623	▲ 5	▲ 269	▲ 7	▲ 299	▲ 8	▲ 401
7 商業	478	1,710	▲ 178	▲ 489	▲ 151	▲ 339	▲ 148	▲ 396	▲ 92	▲ 198	▲ 103	▲ 289
8 金融・保険・不動産	▲ 1,636	1,654	▲ 200	▲ 280	▲ 283	▲ 521	▲ 137	▲ 332	▲ 157	▲ 549	▲ 153	28
9 運輸・情報通信	2,965	924	106	▲ 123	25	▲ 434	▲ 3	▲ 243	85	▲ 63	159	▲ 60
10 サービス業	▲ 389	1,358	1	77	▲ 65	▲ 860	▲ 63	▲ 356	▲ 72	▲ 5	▲ 68	▲ 215
11 分類不明	▲ 0	▲ 0	0	0	0	▲ 0	0	0	0	0	0	0
合 計	▲ 18,745	8,897	▲ 511	▲ 1,732	▲ 1,773	▲ 4,174	210	▲ 1,951	▲ 221	▲ 1,294	165	254

(注)38部門分類(参考表参照)における皮革・ゴム、その他製造品及び事務用品

4 北海道内地域間の交易構造

道内各地域間の交易（移出+移入）の金額をみると（図4）、最も金額が大きいのは「道央―道北」間の9,463億円で、次いで「道央―道南」間の6,429億円となっている。

図4 各地域間の交易



道内各地域間の取引の全額に占める各地域間の取引金額の割合をみると（表4）、「道央」とその他5地域との取引は、「道央－道北」間の26.7%をはじめ、いずれも10%を超えており、その合計は82.2%と北海道の経済において「道央」が中心となっていることがわかる。

一方、「道南－オホーツク」間及び「道北－釧路・根室」間の取引は、それぞれ0.7%、0.6%と道内各地域間の中で特に小さい。

表4 各地域間の取引ウエイト

(%)

道央	18.2	26.7	11.1	13.6	12.6
	道南	1.2	0.7	1.2	1.1
		道北	3.1	1.3	0.6
			オホーツク	1.5	3.5
				十勝	3.6
					釧路・根室

5 地域別生産誘発構造

産業連関表において、各産業の生産は、すべて最終需要により誘発される。図5、表5は、地域別に最終需要項目別生産誘発額の割合を表したものであり、各地域の生産がどのような最終需要項目によって誘発されたのかを示している。

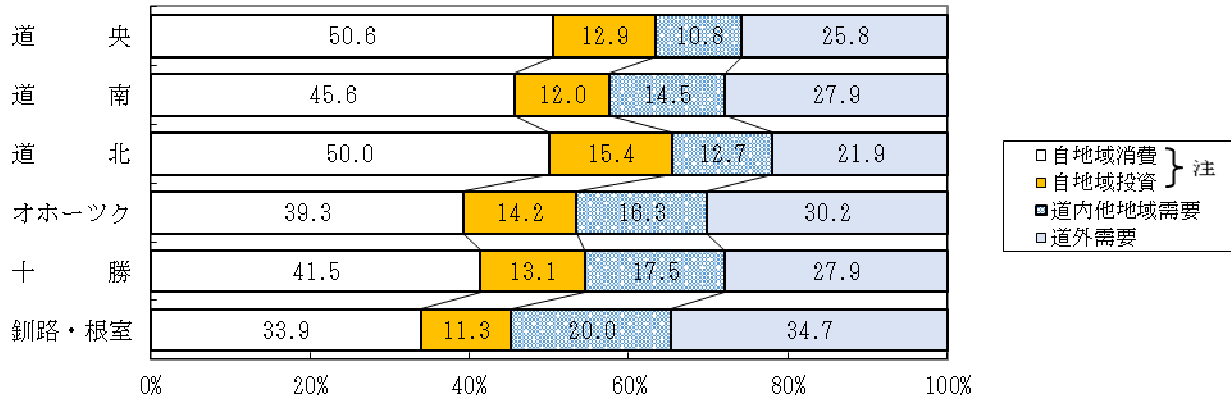
「自地域消費」による生産誘発額の割合をみると、「道央」が生産額（22兆5,218億円）の50.6%（11兆3,932億円）と最も高く、産業別では第3次産業が46.8%（10兆5,313億円）と高くなっている。

「自地域投資」による生産誘発額の割合は、「道北」が生産額（3兆5,899億円）の15.4%（5,536億円）と最も高く、産業別では第2次産業の建設業が10.1%（3,623億円）と高くなっている。

「道内他地域需要」による生産誘発額の割合は、「釧路・根室」が生産額（2兆5,208億円）の20.0%（5,038億円）と最も高く、産業別では第3次産業が9.3%（2,335億円）と高くなっている。

「道外需要」による生産誘発額の割合は、「釧路・根室」が生産額（2兆5,208億円）の34.7%（8,756億円）と最も高く、産業別では第2次産業の製造業が17.0%（4,276億円）と高くなっている。

図5 地域別最終需要項目別生産誘発構造



(注) 自地域消費とは、自地域の家計外消費支出、民間消費支出及び一般政府消費支出のことである。

自地域投資とは、自地域の総固定資本形成（公的、民間）及び在庫純増のことである。（13部門分類参照）

表5 地域別最終需要項目別生産誘発額の割合

(億円、%)

地域	産業	自地域消費		自地域投資		道内他地域需要		道外需要		生産誘発額合計		
		金額	割合	金額	割合	金額	割合	金額	割合	金額	割合	
中央道	第1次産業	747	0.3	194	0.1	589	0.3	2,868	1.3	4,398	2.0	
	第2次産業	鉱業	50	0.0	27	0.0	62	0.0	276	0.1	415	0.2
		製造業	7,459	3.3	3,068	1.4	6,485	2.9	27,189	12.1	44,201	19.6
		建設業	362	0.2	16,270	7.2	98	0.0	115	0.1	16,844	7.5
	第3次産業	105,313	46.8	9,434	4.2	17,023	7.6	27,589	12.2	159,360	70.8	
合計	113,932	50.6	28,994	12.9	24,256	10.8	58,036	25.8	225,218	100.0		
南道	第1次産業	170	0.6	64	0.2	83	0.3	997	3.8	1,314	5.0	
	第2次産業	鉱業	9	0.0	8	0.0	43	0.2	13	0.0	73	0.3
		製造業	701	2.6	278	1.0	536	2.0	3,698	14.0	5,213	19.7
		建設業	33	0.1	2,001	7.6	20	0.1	11	0.0	2,064	7.8
	第3次産業	11,178	42.2	820	3.1	3,164	11.9	2,666	10.1	17,828	67.3	
合計	12,091	45.6	3,171	12.0	3,846	14.5	7,385	27.9	26,492	100.0		
北道	第1次産業	337	0.9	158	0.4	642	1.8	1,869	5.2	3,006	8.4	
	第2次産業	鉱業	5	0.0	18	0.0	11	0.0	10	0.0	44	0.1
		製造業	895	2.5	373	1.0	609	1.7	2,783	7.8	4,660	13.0
		建設業	49	0.1	3,623	10.1	19	0.1	15	0.0	3,706	10.3
	第3次産業	16,660	46.4	1,364	3.8	3,264	9.1	3,194	8.9	24,482	68.2	
合計	17,946	50.0	5,536	15.4	4,546	12.7	7,871	21.9	35,899	100.0		
オホーツク	第1次産業	187	1.0	142	0.7	689	3.5	1,886	9.6	2,904	14.8	
	第2次産業	鉱業	3	0.0	13	0.1	1	0.0	6	0.0	24	0.1
		製造業	424	2.2	205	1.0	689	3.5	2,474	12.6	3,793	19.3
		建設業	21	0.1	1,845	9.4	9	0.0	8	0.0	1,884	9.6
	第3次産業	7,086	36.0	583	3.0	1,826	9.3	1,567	8.0	11,061	56.2	
合計	7,722	39.3	2,789	14.2	3,214	16.3	5,941	30.2	19,665	100.0		
十勝	第1次産業	224	1.0	172	0.7	1,013	4.4	2,154	9.3	3,564	15.4	
	第2次産業	鉱業	7	0.0	15	0.1	24	0.1	12	0.1	57	0.2
		製造業	553	2.4	255	1.1	830	3.6	2,216	9.6	3,855	16.6
		建設業	27	0.1	1,826	7.9	11	0.0	10	0.0	1,874	8.1
	第3次産業	8,797	38.0	766	3.3	2,185	9.4	2,080	9.0	13,829	59.7	
合計	9,608	41.5	3,035	13.1	4,063	17.5	6,472	27.9	23,178	100.0		
釧路・根室	第1次産業	166	0.7	157	0.6	971	3.9	2,045	8.1	3,338	13.2	
	第2次産業	鉱業	3	0.0	8	0.0	143	0.6	52	0.2	206	0.8
		製造業	489	1.9	243	1.0	1,577	6.3	4,276	17.0	6,584	26.1
		建設業	26	0.1	1,751	6.9	13	0.1	13	0.1	1,803	7.2
	第3次産業	7,874	31.2	698	2.8	2,335	9.3	2,371	9.4	13,277	52.7	
合計	8,557	33.9	2,857	11.3	5,038	20.0	8,756	34.7	25,208	100.0		